

車いす利用者利用駐車区画の不適正利用の防止

市町・自治体・団体



兵庫県まちづくり部

課題解決事業者



VEEMO株式会社

取り組んだ課題



車いす利用者利用駐車区画に広いスペースを必要としない人が駐車することで、車いす利用者が駐車できず、移動に支障するケースが発生

解決してない理由は？



モラルやマナーに頼った車いす利用者利用駐車区画の運用に限界

求める解決策

IT技術を活用し、モラルやマナーのみに依存せず、確実に不適正利用を防止する仕組みの構築

VEEMOが持つITを活用した駐車場管理のノウハウとマッチ



兵庫県
まちづくり部



VEEMO株式会社

実証概要

開発中の不正利用防止装置を県民が利用する施設に設置し、
社会実装の可能性を検証

目的

不正利用の防止効果を検証するとともに、
利用の容易性等を検証する

ターゲット

施設を利用する全ての県民

事業者のアセット

- 不正利用を物理的に阻止する装置及びアプリで構成される”VEEMO Welfare”

県のアセット

- 実証実験のフィールドとなる県有施設の紹介
- 障害のある方等への実証実験の参加呼びかけ

VEEMO Welfareの概要

事前の準備

VEEMOの「プロフィール」にある「ミライロIDと連携」でミライロIDと連携してください。



ダウンロードはこちら



連携

ミライロIDに障害者手帳を登録してください。

※手帳情報の審査・登録完了には、3日程度かかります。(土日・祝日・年末年始を除く)

障害者手帳アプリ
MIRAIRO ID

ダウンロードはこちら



ご利用

STEP 1



駐車場を検索

STEP 2



車室を選択

STEP 3



スタンドを倒して入庫

実証①

県有施設・民間施設辺へのサービス導入による運営検証

サンシャインワーフ神戸



(実証期間：R7.10.23～継続中)

尼崎スポーツの森



(実証期間：R7.12.10～R8.2.23)

マルアイ 東須磨店



(実証期間：R8.1.15～R8.2.23)

3か所の施設で実際にサービスを導入し、利用者、施設事業者から反応を回収

実証②

利用者の方にユーザビリティテスト&ユーザーインタビューを実施

特定非営利活動法人アイ・コラボレーション神戸さまご協力により実施



利用動線確認



アプリ操作確認

ユーザー体験に迷うポイントは無いかを確認。
障害者駐車場の利用状況についてのヒアリングを実施。

定量
結果

利用実績：127件（目標60件）
不適正利用の発生件数：0件



- 課題である不適切利用の発生もなく、リピーターを含めた多くの方に利用頂いた。
- 事故や重大な苦情もゼロ！

定性
結果

【利用者満足度】
5段階評価で★4.3の評価を頂く



★★★★★ 4.3/5

- 「空いてるかわからない不安が無くなり、安心して利用できるようになった」と8割が回答
- 設置の容易性や撤去後の復旧について、施設側の納得が得られた

総括

本実証実験により、サービスが課題解決に繋がることを実証完了。
利用者・事業者共にサービスをご評価いただき社会課題解決に大きな一歩となった。



期待される効果

VEEMO Welfareによって適正利用が実現し
障害者等用駐車スペースが本当に必要な方が
身体的負担もなく安心して利用できる。



改善点

設置する案内看板の視認性や、アプリ
の画面の分かりやすさや操作性の改善

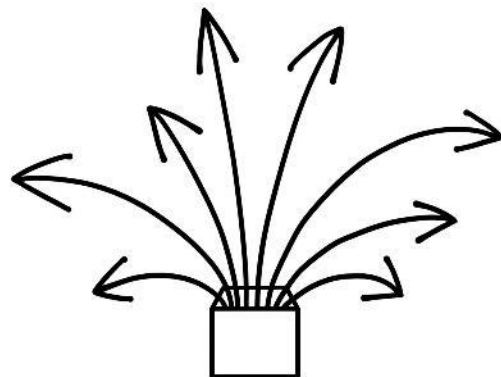
今年度の結果



- 不適正利用防止の効果が確認

次のアクション
(2026年度)

横展開予定



- 県庁内の県有施設所管課への周知
- 県補助金※を活用した民間施設への導入促進
 - ※ユニバーサルなまちづくり推進事業補助金
- 福祉のまちづくりアドバイザーへの周知

ゴールイメージ



- モラル教育などの「心のバリアフリー」の普及に努めつつ、不適正利用防止のツールとしてVEEMO Welfareが一般化

VEEMOは、「移動に関する不満を無くしスムーズな移動体験の提供」をビジョンに

障害者等用駐車スペース不適正利用の社会課題に対して

本当に必要な方が、「止められないで困らない、安心して利用出来る駐車環境」を提供します！！



今回の実証実験を通して、

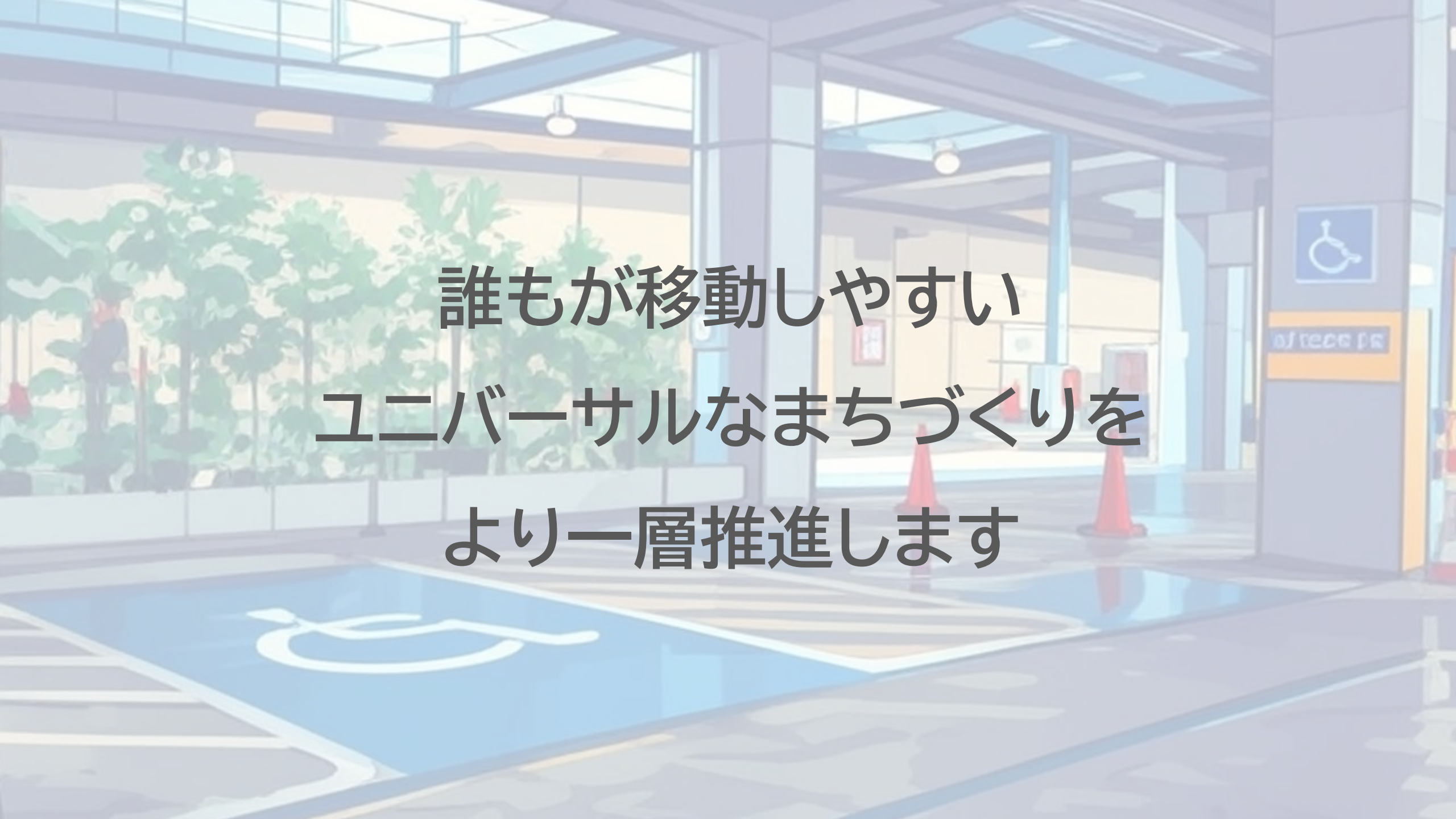
「サービスが課題を解決できること」は確認ができました。

これからは

「サービスを普及させて、より多くの課題解決できるのか」です。
兵庫から全国へ普及させるためのご協力よろしくお願いいたします。

こんな人と話したい

- 観光/福祉/まちづくり/施設管理等のバリアフリーに関連する行政の方々
- 施設付帯駐車場を持つ事業者さま
- 社会課題解決/バリアフリーに関心のあるの方々



誰もが移動しやすい
ユニバーサルなまちづくりを
より一層推進します